

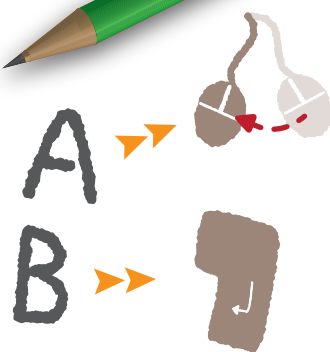
オペナビ 特集

正式名称「オペレートナビ」

上肢の障害などの理由により、
マウスやキーボードでのパソコン操作が
困難な方が、テンキーまたはスイッチを
使用して、パソコンや各種アプリケーションを
操作するためのソフトです。

つまり？

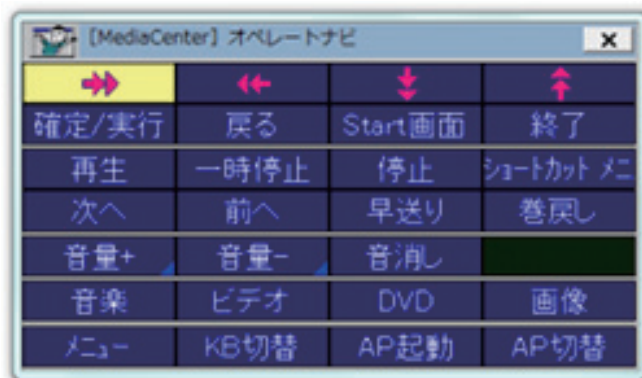
Aの項目に「マウスを左に動かす」という内容や
Bの項目に「エンターキーを押す」
などの内容を事前に登録しておけば
それらの動作をスイッチひとつで行う事が
出来るようになります。



スイッチひとつでの操作が可能のため、指一本や首から上しか動かないような障害をお持ちの場合でも、複雑な操作を行う事が可能になります。

障害の状況やアプリケーションごとに、キーボードを自由にカスタマイズし、マウスポインタの移動速度やショートカットキーの割り当て等、変更することが出来ます。

その他、文章読み上げ機能や入力での語句補完機能など、多くの機能が搭載。非常に便利なソフトです！



●操作方法

1スイッチの状態、自動スキャン方式を利用した場合の操作例です。

①オペレートナビの起動

パソコンの電源を入れると、オペレートナビが自動的に起動します。



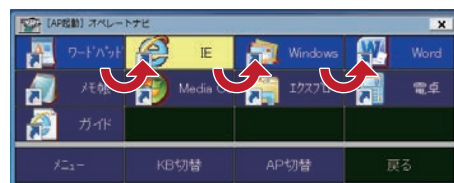
②スキャン開始

スイッチを押すと、オペナビの画面上で黄色いスキャンカーソルが移動していきます。この際、グループ単位でのスキャンとなり、この後の工程で起動するコマンドを絞り込む形になります。



③コマンドの絞り込み

該当のグループ上にスキャンカーソルが止まった時、再度スイッチを押すと、グループ内でスキャンカーソルが移動していきます。



④コマンドの決定

スキャンカーソルが使用したいコマンド上に有る時にスイッチを押すと、キーが赤く変化し、そのキーに登録されたコマンドが実行されます。



⑤アプリケーションの操作

アプリケーションなどが起動され、対応するスクリーンキーボードが表示されます。スキャン動作を行い、実行したいキーを選択することでアプリケーションの操作を行います。

